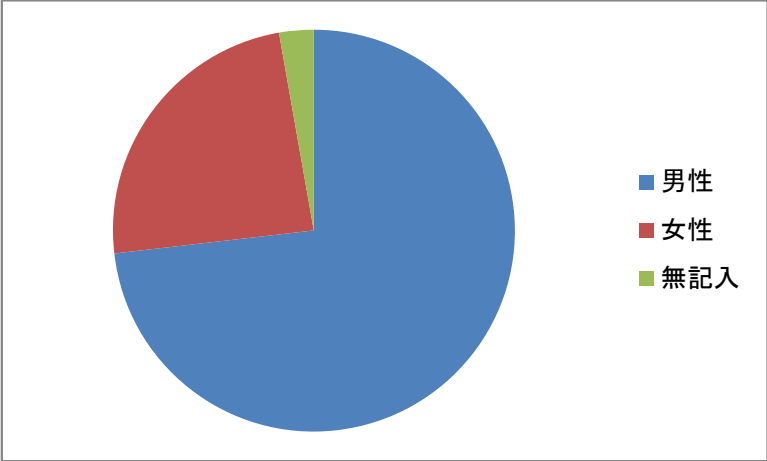


# 資料2-2

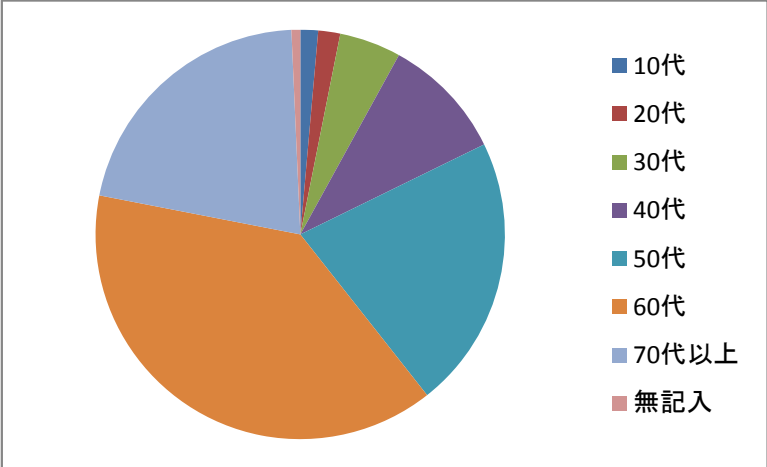
## 平成26年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応) に係るアンケート結果(回答総数:287名)

問1 性別



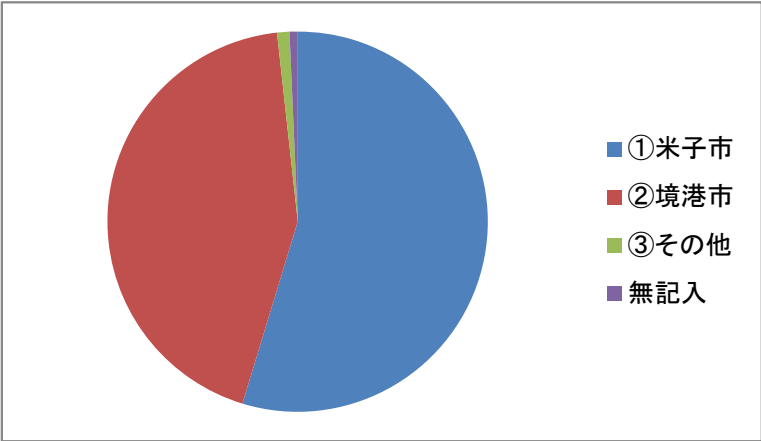
区分	人数	割合
男性	210	73.2%
女性	69	24.0%
無記入	8	2.8%

問2 年齢



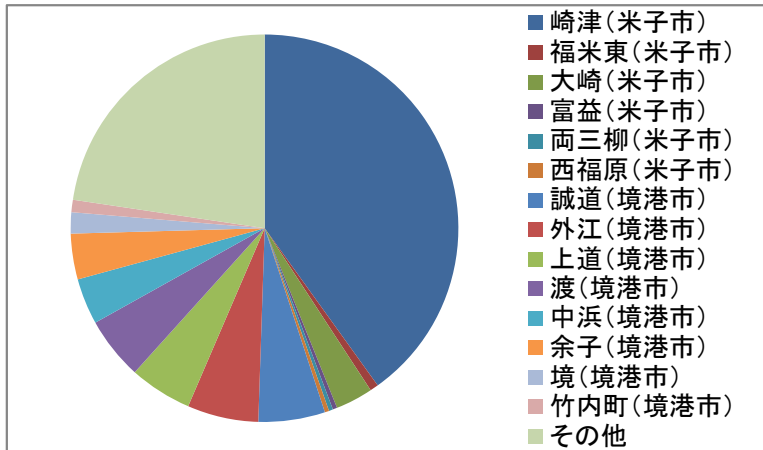
区分	人数	割合
10代	4	1.4%
20代	5	1.7%
30代	14	4.9%
40代	28	9.8%
50代	62	21.6%
60代	111	38.7%
70代以上	61	21.3%
無記入	2	0.7%

問3 住まい



区分	人数	割合
①	157	54.7%
②	125	43.6%
③	3	1.0%
無記入	2	0.7%

問4 参加地区名

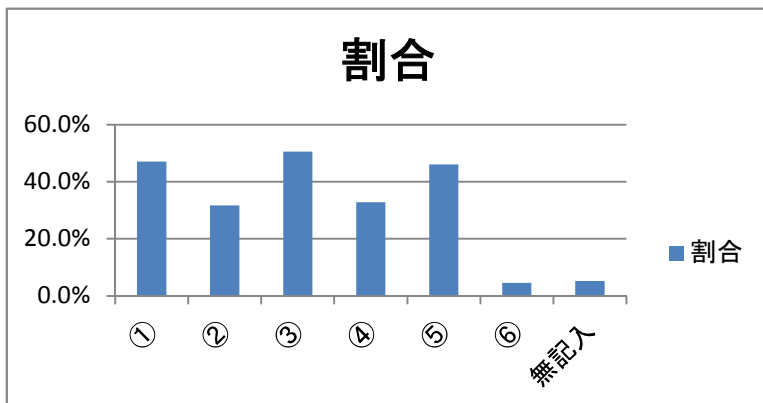


参加地区名	人数	割合
崎津(米子市)	115	40.1%
福米東(米子市)	2	0.7%
大崎(米子市)	9	3.1%
富益(米子市)	1	0.3%
両三柳(米子市)	1	0.3%
西福原(米子市)	1	0.3%
誠道(境港市)	16	5.6%
外江(境港市)	17	5.9%
上道(境港市)	15	5.2%
渡(境港市)	15	5.2%
中浜(境港市)	11	3.8%
余子(境港市)	11	3.8%
境(境港市)	5	1.7%
竹内町(境港市)	3	1.0%
その他	65	22.6%

問5 今回の訓練に参加して、原子力災害発生時に避難する際、不安に感じることについてお尋ねします。

1 下から当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

- ① 避難指示の情報をする方法
- ② 家族と連絡を取り合う方法
- ③ 避難の方法(移動手段や避難経路等)
- ④ 被ばくを避けるための方法
- ⑤ 避難後の生活について
- ⑥ その他( )



区分	人数	割合
①	135	47.0%
②	91	31.7%
③	145	50.5%
④	94	32.8%
⑤	132	46.0%
⑥	13	4.5%
無記入	15	5.2%

2 上記の選択肢を選んだ理由をお書きください。

( )

①を選択した主な理由

- ・情報伝達が一番必要だと思うから
- ・防災無線などの放送が聞き取りにくいから
- ・災害発生時は皆がパニックになるから
- ・防災放送だけでは、事態の内容がわからないから
- ・聴覚障害者のため言葉が全く聞き取れず、音声放送は全くわからないから
- ・行政から情報が入らないと、どう避難したらよいか不安になるから
- ・災害時の混乱した状況の中で、適切な情報が得られるか心配だから

②を選択した主な理由

- ・原発の位置と年間の風向が同一方向(避難場所)
- ・情報伝達が一番必要だと思うから
- ・家族が他地区に住んでいるから
- ・ひとり暮らしをしており、実家は遠距離だから
- ・災害発生時は通信手段が混乱すると思われるから

③を選択した主な理由

- ・公共交通機関の乗場、時間がわからないから
- ・車で避難した場合の渋滞が心配だから
- ・母子2人暮らしで、離れている時間も多く心配だから
- ・混雑のきわみだと思うから
- ・訓練の避難と異なり、本番の事故発生は統率のとれた避難が困難。大混雑が発生し避難に多大な時間がかかることが心配されるから
- ・実際に避難をどういう手順で行うのか心配だから
- ・車を使っても動けなくなる心配があるから
- ・今回は地区の代表ということでの参加であったが、実際はお年寄りから子供まで多数の避難が予想され、こんなにスムーズにはいかないと思うから
- ・事前に準備をしておくことがむずかしいから
- ・マイカー避難者による陸路の渋滞が予想される。海路と空路も限りがあり、いかにスムーズにできるのかが問題だから
- ・家族待ちや勝手な個人的な来までの避難で組織的な避難が取りづらいから
- ・いざという時の交通渋滞が心配だから
- ・バス、JRが適正に手配できるのか、また自家用車は渋滞が心配だから
- ・災害時は混乱するため、適切な避難経路等の情報が得られなければ、交通渋滞が起こり、避難に遅れが生じるから
- ・災害発生時の時間により、移動等の手段、経路が異なるから

④を選択した主な理由

- ・あまり知識がないから
- ・被ばくが一番怖いから
- ・目で見えないから
- ・福島原発の報道から不安に思う。
- ・被ばくや放射線は見えないので、不安である。

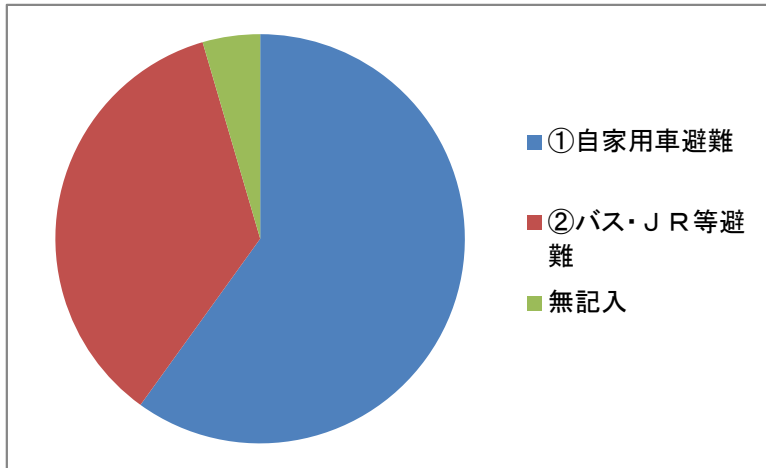
⑤を選択した主な理由

- ・避難後の生活については、どの位の避難期間になるのか、また帰れるのか心配だから
- ・長期避難時等の保存食確保・服用している薬の確保が心配だから
- ・避難場所等の説明は受けているが、その後がどうなるのかの説明は何もないから
- ・避難期間、住宅問題が気になるから
- ・病気のため薬の処方はどうなるのか心配だから
- ・農家のため災害後仕事ができるか不安だから(畑の汚染とか)
- ・今なお未解決の福島をみても他人事ではないから
- ・生活ラインの確保ができるのか不安だから
- ・病気を持つ妻がいるから
- ・自宅の生活と違うため。
- ・慣れない土地での生活が不安だから

⑥を選択した主な理由

- ・ペットの避難方法
- ・原発の状況
- ・放射性物質の動き(流れ)

問6 原子力災害時に避難する際に、自家用車による避難と、県等が手配したバス・JR等(公共交通機関)による避難とでは、どちらを選択されますか。

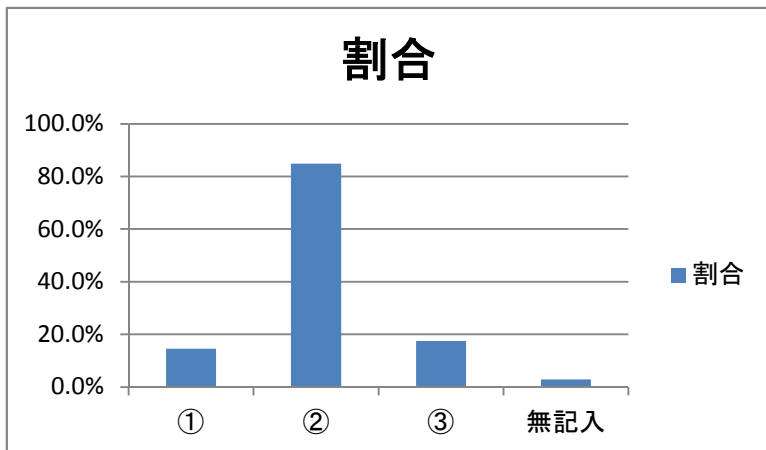


区分	人数	割合
①	172	59.9%
②	102	35.5%
無記入	13	4.5%

⇒問6で「①自家用車による避難」を選んだ方におたずねします。

問7 自家用車による避難が良いと思う理由について、当てはまると思う理由を選んでください。(複数回答可)

- ① 多くの家財を運ぶため
- ② 避難所到着後も移動しやすい
- ③ その他( )



区分	人数	割合
①	25	14.5%
②	146	84.9%
③	30	17.4%
無記入	5	2.9%

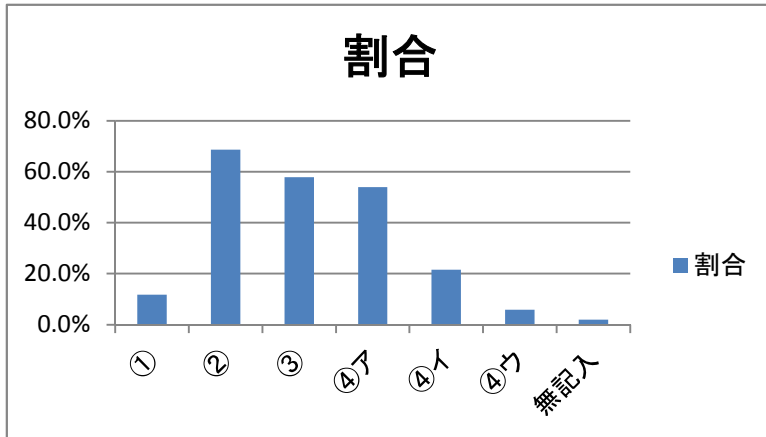
③を選択した主な理由

- ・家族と一緒に行動できるから
- ・両親が年老いているため、その後都合がよいから
- ・身近にあり、もっとも早い行動がとれるから
- ・高齢者がいるから
- ・親が車イス移動だから
- ・足の悪い家族がいるので、集合場所まで行けないから
- ・家族がいつも一緒にいられるから
- ・避難時もいろいろな選択ができるから
- ・障がい者が同居しているから
- ・動物がいるから
- ・避難先で個人の所有物を確保することが難しいので車で保管するから
- ・バス、JR等での避難は、時間のロスが多いように思うから
- ・避難所でもプライバシーが守れるから
- ・行動範囲が広がるから
- ・重複障がいのある妻がいるから
- ・避難を開始するタイミングが、バス・JRより圧倒的に早くなると思ったから

⇒問6で「②バス・JR等による避難」を選んだ方におたずねします。

問8 バス・JR等による避難が良いと思う理由について、当てはまると思う理由を選んでください。(複数回答可)

- ① 自分で運転できない。または自家用車がない。
- ② 自家用車は交通渋滞や事故の心配がある。
- ③ 自分で避難所の場所を知らなくても避難所に到着できる。
- ④ あなたが実際に使いたい避難手段は  
ア.バス イ.JR ウ.その他( )

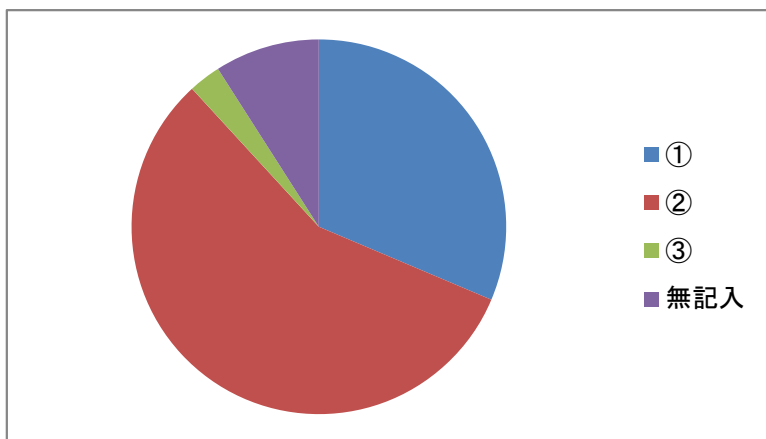


区分	人数	割合
①	12	11.8%
②	70	68.6%
③	59	57.8%
④ア	55	53.9%
④イ	22	21.6%
④ウ	6	5.9%
無記入	2	2.0%

- ④のウを選択した主な理由
- ・海上保安部の船
  - ・ヘリコプター

問9 鳥取県(境港市・米子市)では、自家用車による避難を行う場合、渋滞による被ばくを避けたり、ガス欠を防ぐため鳥根原子力発電所に近い地域から「段階的避難」をすることとしています。このことについてお尋ねします。

- 1 自分の住んでいる地域の段階的避難の区分を知っていますか？
- ①知っている、②知らない、③その他( )



区分	人数	割合
①	90	31.4%
②	163	56.8%
③	8	2.8%
無記入	26	9.1%

- ③を選択した主な理由
- ・自らの意思で避難すれば良いではないか
  - ・忘れている
  - ・ある程度の知識として持っている
  - ・鳥取市は対象になっていないが、被害を受けるので、逃げる必要があるから
  - ・今日知った
  - ・区域外はマップには載っていない

## 2 段階的避難を行うために必要なことは何だと思いませんか？

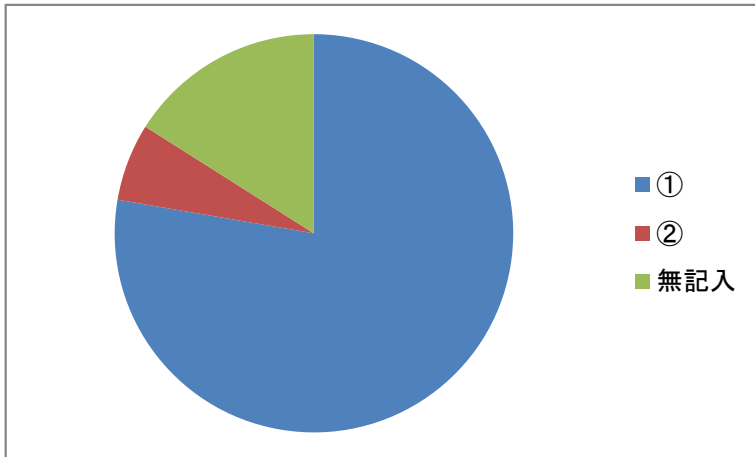
( )

- ・住民に対する徹底
- ・情報の適正な伝達
- ・要支援者の優先(あらかじめ決めておく)
- ・出来るだけ遠くに行く。(広い所へ車を駐車させて)駅の近く、JR、バス等
- ・優先順位の把握
- ・落ち着く、慌てない
- ・マスク、雨具、帽子の着用
- ・情報を知ること、伝えること
- ・落ち着いた行動、適切な誘導
- ・安全にスピーディーに避難できる手段
- ・渋滞をさける。市・県等からの指示を守る
- ・避難経路の確保
- ・それぞれパニックにならずに順序よく避難すること
- ・道路網の整備(高速・地道とも)
- ・広報を増やして周知させる
- ・必要性和地域住民に対する説得(指導)を徹底させておくこと
- ・交通規制の方法
- ・情報伝達と、パニックにならないこと
- ・協力して声を掛け合う
- ・渋滞にならないような工夫
- ・市の指示に従う
- ・避難のルールを守る
- ・住民に対して段階的避難を実際に訓練を実施し徹底的に浸透させて、ルール化が必要
- ・避難指示に従って、落ち着いて行動をする
- ・正しい情報を速く正確に知る事(テレビ、放送、ラジオ等)
- ・みんながマナーを守り我先にならないようにする
- ・ある程度強制力の働く体制
- ・リアルタイムな確かな情報が入手できること
- ・交通規制と情報伝達
- ・行政による適確な指示、信頼
- ・一人よがりにならず落ち着いて行動する。
- ・避難情報の伝達の確実性
- ・冷静な判断と情報
- ・指示を守る事
- ・落ち着いて行動する
- ・連携して連絡しあう
- ・区分を知って、落ち着いて行動する
- ・行政や警察・自衛隊による交通規制
- ・広報による周知徹底、それを厳守すること
- ・交通渋滞、組織的な移動
- ・交通アクセスの確保
- ・自家用車による避難に対しての交通整理
- ・移動時間をはっきりさせる
- ・いつ避難するのかの情報の伝達→聴障者には伝わりにくい
- ・自分の区分を知ること
- ・避難地図が必要
- ・パニックにならない
- ・正確な情報(放射能の流れ、道路の状況)
- ・個々のルートのあらかじめ指定周知徹底
- ・自分勝手な行動を取らない
- ・体に直接浴びない様、防護して落ち着いて迅速に行動する

問10 本日の原子力防災研修についてお尋ねします。

1 研修の内容はどうでしたか

①わかりやすかった、②難しかった(その理由 )



区分	人数	割合
①	223	77.7%
②	18	6.3%
無記入	46	16.0%

②を選択した主な理由

- ・本当にこの研修は必要なのか。いらなと思う
- ・この程度なら、たぶんみんななんとなく分かってる
- ・ベクレル、シーベルトの量が解らない
- ・ $\gamma$ 線についての話がしていない。御用学者の論理をそのまま言われている。F=maを理解しているかどうかも疑問
- ・安全確保をふだんから考えた際に、もっと情報を受けたい
- ・小学生だから難しかった

2 もっと聞いてみたい内容は( )

- ・何かあったら、一般住民はどこに行ってどうすればよいかを教えてほしい
- ・原発事故の可能性について
- ・原子力発電所の事故ではどんな危険な放射能があるか
- ・詳しい内容を時間をかけて聞いてみたい
- ・事故の際の人体に与える影響。事故の際被ばくを避けて逃げる方法
- ・内容はなんでもよい。よく理解できた
- ・遺伝するのかどうか

問11 その他、今回の訓練に参加してお気づきの点等がございましたら自由にご記入ください。

【全般】

- ・これからの生活にとっても役立ち、参考になった
- ・もっと危機感のある訓練が良いと思う
- ・若い市民にもっと参加をしてほしい
- ・事態のおきた時の気象情報と放射線の飛散状況をどう得るか
- ・今回の訓練を毎年実施してほしい。住民に対して防災意識を高めることができる
- ・スケジュールが既に決まっている訓練は意味がない
- ・自然災害などは突然やってくるものなので、突然やるべきではないか
- ・緊迫感がない
- ・訓練の場合でも時間が掛かり過ぎ
- ・今回は団体行動だったが、非常時は個人行動になることから、情報等が入りにくくなるのではないだろうか

### 【避難】

- ・自家用車で移動した場合の駐車場はどうするのか
- ・参加する前から、何をどうするのかわからず不安だった。とりあえず、集合場所に行けば良いということがわかった
- ・バスの中でも、あまり説明がなく、バスを降りた後も誘導がなく、目的地とは違う場所に行くことが何度かあった。もう少し本番を想定した訓練をしないと、意味がない。一般の人に参加してもらうのなら、誘導員はもっとしっかりしないとだめだ思う。大変疲れた。
- ・その時々案内が良く流れが良かったと思う
- ・自家用車による避難が多いと思われるが、自家用車による避難訓練はしないのか
- ・避難方法について、交通手段、経路、混み具合等疑問に感じている
- ・JR内でのアナウンスがなかった。停車時間が発車時間だけでも知らせてほしい
- ・JR、船舶が有効と思うが、乗り込みの混乱が心配
- ・マスクのつけ方の指導、服装の指導があってもよかった
- ・列車移動は駅でも待ち時間が長すぎる(その間被ばくし続ける)
- ・視覚障がい者を集合場所に集めることも困難
- ・バス乗車時、どこにバスが停車しているのかの放送がなかった
- ・トイレは人が多くてなかなか入れなかった。特に女性は問題
- ・朝7時半の防災放送が聞こえにくかった(さまざまな地区の放送が同時に聞こえてしまい、何を言っているのか分かりにくかった)
- ・今回は訓練なので、あらかじめ集合場所や時間を知っていたためスムーズに避難できたが、実際に災害が発生し、混乱が生じたときに、放送が聞こえないと致命的だと思った。
- ・一時集結所に集まる場合、実際にはヨウ素剤の服用、バスに乗るまで時間がかかると思う

### 【スクリーニング】

- ・スクリーニング時間のかかり過ぎ
- ・スクリーニングする時の順番をはっきりさせる。
- ・30km内でなく、風を考えた地域全体で行う。計画でなく、原発事故・災害の場合、行う必要があると思う。

### 【安定ヨウ素剤】

- ・ヨウ素剤を飲むのに、2時間以内が良いとのことでしたが、どういう具合に配布されるのか

### 【車両除染等】

- ・車の除染を見学したが、(一台に時間がかかる)車の移動は大変である事が解かったが、どのように避難場所へ移動するのが良いのか

### 【原子力防災研修等】

- ・放射線の講演わかりやすくとても良かった
- ・講習がわかりやすく、漠然とした感じを適確に説明してもらった
- ・被ばくから身を守る方法の教育を詳しくしてほしい
- ・放射線の基礎知識は、分かりやすく良かった
- ・色々展示してあったのだが、時間が足らずよく見れなかったのは残念であった。もう少し時間をとっていただきたい
- ・100msvまで、大丈夫というのは、 $\gamma$ 線に対しての話。体内部で $\alpha$ 崩壊 $\beta$ 崩壊したときの話しではない。K40は、48億年前に作られたものが未だにある。それに耐性をあて生物は生きている。8年や30年で崩壊する放射性物質を体内で崩壊させる内部被ばくについての耐性は得ていない。もう少し、 $\gamma$ 線と $\alpha$ 、 $\beta$ 線の影響の違いを理解してほしい
- ・研修の時間が非常に短い
- ・林先生の講演をもっと聞きたかった。大変参考になった
- ・放射能について、初歩的なことがよく理解できた
- ・風評の点(誤解の点の説明)
- ・分かりやすい説明だった